

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	自然科学教育部学部・ <u>大学院</u> 材料・応用化学学科・ <u>専攻</u> 1年
プログラム実施 大学名	フライブルグ大学 (国名： ドイツ)
プログラム期間	2021 年 09 月 02 日 –2021 年 09 月 24 日
プログラム参加 の目的	ドイツ留学前，ドイツ語に慣れるために受講。 第二外国語の授業などでドイツ語を選択したことがなく，全くの初学者であり，ドイツは田舎になればなるほど英語が通じないと聞いていたので，少しでもドイツ語を理解できるようになって留学したかったから。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容，スケジュール 等)	平日に毎日一時間半のオンライン授業に加え，週に二回のスピーキング中心のオンライン授業があり，週に一回ほど文化交流などのイベントごとが開催されていた。授業は，オンライン形式で先生が画面共有をし，pdf を見せながら生徒が回答していく形式だった。いわゆるレクチャーのように教え込むようなものではなく，一つ一つ生徒に問いかけながら進行していくスタイルで，授業の大半は二，三人のグループに分かれ先生から教わったことを活かしてワークをこなすという流れだった。授業後には少し宿題が出されるがこなせない量ではなく 1 時間ほどで終わる分量だった。授業レベルは，初学者用になっているが私のようにドイツ語文法の基礎知識(英語の the がドイツ語では複数あることや女性名詞・男性名詞があり，冠詞のつけ方も変わってくるなどの知識)が全くない者にとっては，最初は何を言っているのか分からなかったが，クラスメートや先生に質問しながら少しずつ理解していった。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

このプログラムに参加したことによって、実際にドイツに来てからレストランのお会計時に、店員さんに自分のドイツ語が通じたことが一番の成果だと思う。正直自分で一からドイツ語を学習していく場合、どこから手を付けたら良いかわからなかったが、ドイツ語を学習していくための手がかりを見つけられた気がする。ドイツで日常生活をしていてまだほとんど何を言っているか分からない状態ではあるが、たまに分かる言葉があると嬉しくなる三歳児のような感覚で日々を過ごすことができるので留学前に受けることをお勧めしたい。

プログラム参加全体を通しての感想

渡航や学会などの時間の都合上、文化交流などのイベントに参加することができなかったことがすごく悔やまれるが、全体を通してクラスの雰囲気は暖かくスピーキング中心にしっかりと「喋ること」を念頭に授業が構成されており、今すぐ使えるものを教えてもらうことができ大変有意義な時間だった。また、授業中に生徒同士でワークをこなすので自然と仲良くなり色々話していると私以外の生徒の多くはフライブルク大学に留学する人だったので、フライブルク大学に留学する前に友達を作るにはとても良い機会になるのではないかと個人的には考える。授業は語学といえども、いわゆる日本での英語の授業などとは全く違うもので、眠くならない授業だったので軽くドイツ語を習ってみたいと思うような人にもお勧めできるプログラムだったように感じた。

最後にプログラム内容とは関係ないことだが、ドイツのオンライン授業はEテキストやアプリなどを多用しており思ったより進化しているためラップトップ一台で挑むのは少し不便に感じた。複数のディスプレイもしくはタブレットなど別途あるともっと効率よく勉強できると思う。